

水害対策に係る常総市現地調査の 結果について

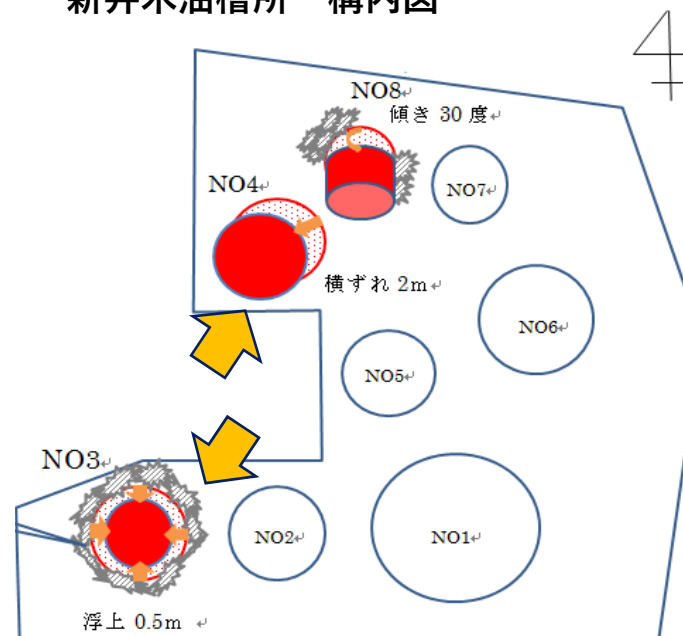


S石油 油槽所

FDMA
住民とともに



新井木油槽所 構内図



【被災タンク】

- ・被災したタンクは撤去されていた。基礎（リング基礎）部は修繕が施され存置されている。
- ・No.4、No.8タンク基礎には被災の痕跡が見られなかった。



S石油 油槽所

FDMA
住民とともに



【No.3タンク基礎】
・浮き上がった基礎
右上被災時の写真と左下現地調査時の写真は同じ位置を図示



【時系列】

H27.9.10 12:50 鬼怒川 21K地点 堤防決壊



↓ 約4時間かけて緩やかに浸水



17:00頃 油槽所員が膝下高の浸水により避難



【当事業所のタンクについて】

- ・ 基礎はリング基礎
- ・ 配管ノズルが底板に近い
- ・ 配管ノズル部には補強プレートが存在する
- ・ 側板に廻り階段が溶接設置
- ・ 底板張出部にグラウト（モルタル）施工



【ハザードマップについてのヒアリング】

・鬼怒川と八間堀川の決壊過程について

鬼怒川 平成27年9月10日6時30分 若宮戸地先（左岸）25.35 K 付近より越水

平成27年9月10日7時45分 大雨特別警報

平成27年9月10日12時50分 鬼怒川堤防決壊

平成27年9月10日13時20分 新石下21 K 付近より氾濫

八間堀川 記録なし

→常総市役所、S石油が存する区域の浸水は鬼怒川決壊によるものであり、八間堀川決壊は八間堀川よりも東側の区域へ浸水をもたらしたものの。（市役所浸水時刻は9月11日AM2:00頃

・全壊、半壊した家屋は全て鬼怒川決壊箇所付近の家屋とのこと。（決壊箇所より上流で溢水が起きているが、家屋倒壊は発生していない。）



鬼怒川堤防決壊箇所 現地調査

FDMA
住民とともに



【鬼怒川堤防決壊地点】

- ・ 矢印は決壊した21K地点を示す
- ・ 新しい堤防の整備が完了している。



【考察】

- ・ 八間堀川は川幅が狭く、いわゆる小河川である。
- ・ 鬼怒川決壊による浸水で、水位が上昇し越水に至ったとされている。



【家屋倒壊エリアに存する屋外貯蔵タンク】

・堤防近く、家屋倒壊エリアに設置された屋外タンク貯蔵所（写真奥の斜面は堤防法面）